

第2回 意見交換会 資料

令和8年(2026年)8月30日

教育委員会事務局
学校施設管理課企画推進係

☎06-6858-2705

kyosuishin@city.toyonaka.osaka.jp

整備の進め方

豊中市では『学校施設長寿命化計画』に基づき基本的には築年数の古い学校施設から順次整備を進めることとしています。
ただし近隣の学校とセットで改築することが効率的である場合は、周辺校を含め整備することも検討していきます。

建て替え後の学校種別

それぞれの小中学校を個別に建て替えを行うことを検討しています。

※熊野田小・第三中は、児童推計に基づくと、将来に渡り児童生徒数が大きく増減しない見込みです。

(参考)

学校	建築年度		築80年となる年度	区分	R8 (2026)	R17 (2035)	R27 (2045)	R37 (2055)
熊野田小	校舎	1958	2038	学級数	22	18	18	18
	体育館	1968	2048	児童数	713	617	576	552
第三中	校舎	1958	2038	学級数	22	27	24	24
	体育館	1964	2044	生徒数	863	912	829	817

建て替え手法の選定

・建て替えを実施するに当たっては、様々な検討事項がありますが、建て替え計画全体に大きく影響する重要な要素である「建て替え手法」を、他の検討ポイントに先立ち、検討する必要があります。

・熊野田小学校・第三中学校の建て替え手法は、3案考えられます

⇒1. 単独建て替え案(それぞれの学校敷地内で建て替えを実施する案)

⇒2. 2校連続整備案(第三中の運動場に新校舎を建設し、空きになった旧校舎を熊野田小が利用している間に熊野田小を建て替える案)

⇒3. 土地交換案(大曽公園内に本設校舎を建設し、熊野田小を建て替える案。※建て替え完了後、第三中跡地を公園として整備)

※大曽公園に仮設校舎を建設する案は、法令上の要件を満たさないため採用不可

・建て替えにあたっては、**工事期間中においても最適な学習環境を確保することが重要です。**

建て替え手法や、整備後の学校の姿については、地域の皆様と対話を行いながら、整備を進めてまいります。

案1 単独建て替え案

単独建て替え案

- ✓それぞれの学校の敷地内で建て替えを実施する案
- ✓運動場部分に新校舎を建設し、完成後に旧校舎を除却します。
- ✓敷地の条件により、工事を複数工期に分けて段階的に新校舎を建設する必要があります。

■配置イメージ図

① 第三中



■工事期間: **4年程度**

※設計期間(2年)を合わせると整備期間は**6年程度**となります。
※スケジュールや配置イメージは一例です。

② 熊野田小



■工事期間: **5年程度**

※設計期間(2年)を合わせると整備期間は**7年程度**となります。
※スケジュールや配置イメージは一例です。

ポイント

- ・通学路は変わりません。
- ・工事による騒音、振動等の影響を受けることになります。
- ・整備期間の長期化が予想されます。
- ・各校ともに運動場の利用は全面的に制限されます。

案2 2校連続整備案

令和8年8月30日
熊野田小学校・第三中学校
意見交換会用資料

2校連続整備案

✓ 第三中の運動場に新校舎を建設し、空きになった旧校舎を熊野田小が利用している間に熊野田小を建て替える案

■工事期間: **7年程度**(※)

■整備の順番

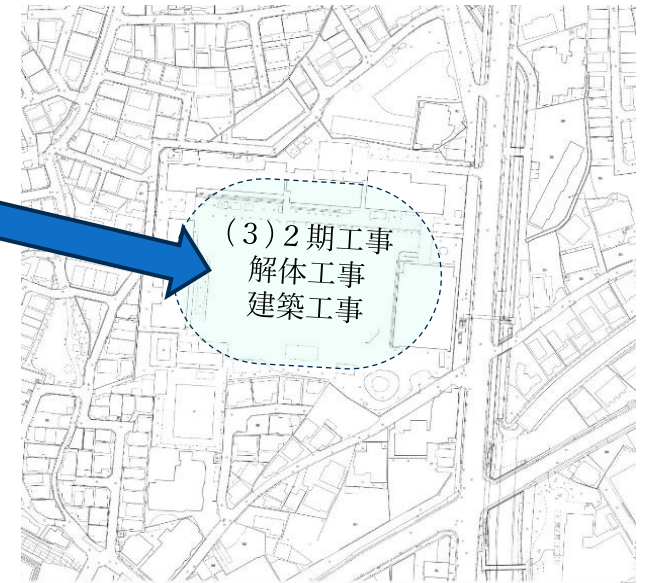
- ①第三中敷地内に新校舎建設(設計2年、工事2年程度)
- ②熊野田小の建て替え(設計2年、工事3年程度)
- ③第三中旧校舎の解体、運動場整備、土地造成等(工事2年程度)

※設計期間(2年)を合わせると整備期間は**9年程度**となります。

■配置イメージ図(第三中学校)



■配置イメージ図(熊野田小学校)



※スケジュールや配置イメージは一例です。

ポイント

- ・②の工事期間中は、一時的に2校が同じ第三中の敷地内で過ごすこととなります。
- ・熊野田小児童は、通学路の変更が生じます。
- ・熊野田小児童は、工事による騒音、振動等の影響を受けることはありません。

案3 土地交換案

令和8年8月30日
熊野田小学校・第三中学校
意見交換会用資料

土地交換案

- ✓ 大曽公園内に新設校舎を建設し、熊野田小を建て替える案
- ✓ 第三中跡地を公園として整備します

■工事期間：**7年程度**(※)

■整備の順番

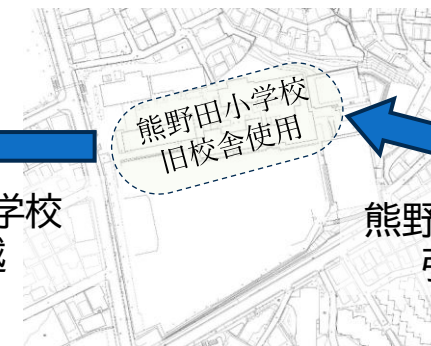
- ①大曽公園に第三中学校 新校舎建設(設計2年、工事3年程度)
- ②熊野田小学校の建て替え(設計2年、工事3年程度)
- ③第三中学校跡地を第2グラウンドに整備(設計1年、工事1年程度)

※設計期間(2年)を合わせると整備期間は**9年程度**となります。

■配置イメージ図(大曽公園)



■配置イメージ図(第三中学校)



■配置イメージ図(熊野田小学校)



※スケジュールや配置イメージは一例です。



ポイント

- ・通学路の変更が生じます。
- ・工事による騒音、振動等の影響を受けることはありません。
- ・大曽公園の利用が長期にわたって全面的に制限されます。
- ・公園の位置が変わることにより周辺環境に変化が出ます。
- ・大曽公園は現第三中の敷地よりも面積が狭いため、現在より施設配置や運用面で制約が生じる可能性があります。

整備に伴う影響について

令和8年8月30日
熊野田小学校・第三中学校
意見交換会用資料

	案1 単独建替え案 第三中	案1 単独建替え案 熊野田小	案2 2校連続整備案	案3 土地交換案
工事期間	計9年程度 (第三中:4年程度 熊野田小:5年程度)		7年程度	7年程度
運動場	・1期工事期間 ⇒半分程度の制限の見込み ・2期工事期間中 ⇒大曽公園の利用	・1期工事期間 ⇒半分程度の制限 ・2期工事・3期工事期間中 ⇒ほぼ全域の制限。第三中運動場の利用を想定	・工事部分以外の第三中運動場の利用 ・大曽公園の利用	新三中敷地に一定規模の運動場を確保できるものの、第三中跡地に第2グラウンドを整備する必要あり。これにより体育の授業等のグラウンド利用に影響が生じる。
体育館	工事期間中、行事や体育授業の実施及び避難所機能を確保するため、新旧の体育館のいずれかが使用可能な状態とする	工事期間中、行事や体育授業の実施及び避難所機能を確保するため、新旧の体育館のいずれかが使用可能な状態とする	工事期間中、行事や体育授業の実施及び避難所機能を確保するため、新旧の体育館のいずれかが使用可能な状態とする	工事期間中、行事や体育授業の実施及び避難所機能を確保するため、新旧の体育館のいずれかが使用可能な状態とする
プール	工事期間中、新旧のプールのいずれかが使用可能な工程を組む	外部のプール施設(近隣の学校、公営施設、民間施設)の利用を検討	【第三中】工事期間中、新旧のプールのいずれかが使用可能な工程を組む 【熊野田小】外部のプール施設(近隣の学校、公営施設、民間施設)利用を検討	【第三中】工事期間中、新旧のプールのいずれかが使用可能な工程を組む 【熊野田小】外部のプール施設(近隣の学校、公営施設、民間施設)利用を検討
通学	—	—	居住地域によっては、通学距離が長くなる場合がある	居住地域によっては、通学距離が長くなる場合がある
放課後こどもクラブ	—	工事期間中、普通教室等の諸室の転用や学校敷地外部での教室確保が必要となる可能性あり	第三中旧校舎内に確保ができる可能性が高い	第三中旧校舎内に確保ができる可能性が高い
工事に伴う影響	工事騒音、振動、粉塵、工事車両の往来	工事騒音、振動、粉塵、工事車両の往来	【第三中】工事騒音、振動、粉塵、工事車両の往来 【熊野田小】 —	—
周辺への影響	・工事期間中、周辺地域に対する工事騒音、振動、粉塵、工事車両の往来の影響に配慮して工事を進めます。 ・校舎位置の変更	・工事期間中、周辺地域に対する工事騒音、振動、粉塵、工事車両の往来の影響に配慮して工事を進めます。 ・校舎位置の変更	・工事期間中、周辺地域に対する工事騒音、振動、粉塵、工事車両の往来の影響に配慮して工事を進めます。 ・校舎位置の変更(第三中)	・工事期間中、周辺地域に対する工事騒音、振動、粉塵、工事車両の往来の影響に配慮して工事を進めます。 ・校舎位置の変更(第三中)